

ボランティア通信 2018. 6 Vol. 218



# なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会  
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp  
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを  
紹介してほしい人  
ボランティア活動を  
はじめたい人  
ボランティアセンター  
にお問い合わせください  
(☎ 8 9 4 - 3 7 3 7)



ジョークも交えながらの講演に会場も沸きました (永井美佳さん)

最近のボランティア事情ついて、高齢化とボランティアのなり手が少ないなどが話題にあります。ここで一寸立ち止まって、自身がボランティアを始めたきっかけや、なぜ続けているのかを考えてみませんか。その問いかけがあり、「好きなこと、大切にしたいもの、守りたいもの、仲間との出会い」など、ボランティアの多くは私生活から始まっています。そのことを大切にしながら、気軽な気持ちがあれば、いろんな局面で人との出会い広がっていくでしょう。

そしてボランティア活動を窮屈なものにせず、もっとフランクに、「ちょいボラ」も大

### ボランティア活動 つなげ・つながるために「協働」がキーワード

5月7日、平成30年度大阪府市町村ボランティア連絡会総会並びに講演会が大阪社会福祉指導センターで開催されました。第1部の総会では、平成29年度事業報告・同決算報告、平成30年度事業計画・同予算について審議が行なわれ、各議案とも賛成多数で可決されました。

第2部は、大阪ボランティア協会事務局長・永井美佳氏による講演会「ボランティア活動がさらに発展し、つなげ・つながついていくためには」と題して、講師自身の体験を踏まえた話がありました。



総会で事業計画を提案する中谷会長 (左から4人目)

歓迎、活動の間口は広く、敷居は低く、誰もが扉を開けたくなる仕組みを考えよう。それはイベントのお手伝い、子育てや家事のお手伝い、短時間のお手伝いもOK、そして「共に学び・共に育ち・共に変わる」ことをベースに、互いに協働することがキーワードになるでしょう。この機会にそれぞれの活動を見つめ直し新たな発見につながることを期待したいと結ばれた。

## ボランティア インタビュー63 坂口和代さん (星の会)



### 学生時代の経験が始まり

学生時代と独身時代のわずかな手話経験を少しでも活かせる場があればと、20数年前に手話サークル「さつき」に入会したのがボランティア活動の始まりです。

### 小さな力を集めて

現在は要約筆記者と難聴者の方と共に学び、時には憩いの場となる「星の会」で活動しています。「無理なく、できる範囲の小さな力が集まって、大きな力になる。」これがボランティアだと思っています。その一方、団体活動となると、何処かで誰かが少し犠牲を払って成り立つものでもあります。皆さんに感謝を忘れず、支えていただきながら続けていきたいと思っています。

### コンサートやライブを 楽しんでいきます

趣味は、細く長く続けている書道と子育てが一段落して、コンサートやライブを楽しんでいます。

自分の年齢や聴こえの寿命を考え始めて、「いま見て、いま聞いておこう。」と思ったのです。それぞれのアーティストさんたちが、夢に向かって、真剣に演奏される姿に力をもらえます。しっかりと演奏に込められた思いが、聞く側の心に寄り添い響くのです。何よりの心の糧になっています。

各地のファン友さんとの出合いも楽しくて、あらためて「人が好き！」そう思います。

### これからも・・・

これからも「いまを大切に、いまを生きる。」ボランティアも「優しく、楽しく」をモットーに続けていきたいと思っています。

### リーダー会議 (5月22日)

☆会長挨拶

・大阪府市町村ボランティア連絡会総会&講演会報告 (1頁参照)

☆連絡会より

・平成29年度交野市ボランティアグループ連絡会助成金決算報告  
・ボランティアセンター大掃除5月21日に実施、8グループ42名が参加しました。

・市民交流フェスタ第1回実行委員会報告 (5月15日開催)

前年度の内容を中心に検討、次回は6月20日開催、集客の方法を加味しながら細部まで決める。

・リーダー親睦会について

開催期日を1ヶ月延期し、7月24日(火)とする

・平成31年度赤い羽根共同募金助成金申請について

☆天の川七夕まつり実行委員会より、7月28日開催の「天の川七夕まつり」への参加要請

☆Vセンターから

・ボランティアサロン開催の件

・Vセンター駐車スペース、子どもゆうゆうセンター駐輪場の件

・助成金情報について

☆各グループ報告(省略)

### 編集 後記

### 日本の「おばあさん」

二十年近くの付き合いになる台湾人の家族が小学生の子ども二人を連れて観光に来た。子どもたちとは4年くらい会っていないが、12歳の、長女と言葉は通じないが、久しぶりの再会に「にこにこ」とハグされると、とても幸せな気持ちになった。

京都でレンタル着物の店で子どもたちが着付けをしてもらった。出てきた台湾人の母親が、私に「おつかさん」と声をかけるのを聞いて警備のおじさんが「娘さんは台湾におられるのですか」と聞いてきた。「いいえ、家族ぐるみのお付き合いなので」、「ええお付き合いですなあ」と・・・、私たちには孫がないのですが、「日本のおばあさん」と言われて、嬉しい気分です。

マロン



# 明星の「花菖蒲ツアー・山田池公園」 かざぐるまのメンバーがお手伝い

5月28日〜6月1日の5日間、デイサービスセンター明星の花菖蒲ツアーに「かざぐるま」のメンバーが毎日1人ずつ外出介助で参加しました。

山田池公園の花菖蒲は140品種1万株もあるそうです。白、紫、黄と色、形、大きさも様々です。  
絵を描く人、写真を撮る人、じっとたずんで花を眺める人……。



山田池公園(枚方)で数多くの花菖蒲を楽しみました

私たちが「きれいだねえ」と指さしながら水の上に渡された木道を、車いすや手押し車の利用者さんたちと語らいながら鑑賞してきました。

帰りは皆で珈琲館に寄り、ティータイム。2時間半の同伴でしたが、遠足気分を楽しませていただきました。(M 記)

## ボランティアセンター大掃除

8グループ42人が参加

5月21日(月)、春のボランティアセンター大掃除に、ボランティアセンター登録団体8グループ、役員を含む42人が参加して、1階と2階に分かれて床掃除をはじめ、換気扇や電灯、窓と網戸など手際よく掃除を実施しました。ボランティアセンターも建立されて26年になり、建物の老朽化が進んでいます。私たちの活動の場として大切な拠点です。一人ひとりが協力し合って長く使えるように心がけましょう。

## 広報紙づくりのノウハウを学ぶ 広報研修会

広報紙づくりの基本的な考え方や効果的な紙面の作り方、また多くの人に手に取ってもらえる広報紙やチラシを作成するノウハウと一緒に学びましょう。

地域や各種団体で広報紙作りを担当されている人はもちろん、予備知識のない人の参加も大歓迎です。

日時 平成30年6月27日(水) 13:30~16:30  
場所 ゆうゆうセンター2階 体験学習室・お年寄り健康教室

参加費 無料(定員70名)  
講師 (株)ペンコム 代表取締役 増田 幸美氏  
申込み 6月20日(水)までに下記の連絡先へお願いします。

社会福祉法人 交野市社会福祉協議会  
〒576-0034 交野市天野が原町5-5-1  
ゆうゆうセンター内 担当(南部)

TEL 072-895-1185  
FAX 072-895-1192

## 「誰でもできる！ おしゃべりボランティア」

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を、毎月ひらいています。

6月は、高齢者の人を対象としたお話し相手のボランティア「陽だまり」の活動について紹介します。

資格も経験も必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

とき : 平成30年6月27日(水) 10時~11時  
ところ : 交野市ボランティアセンター(1階)  
対象 : 交野市と周辺在住、在勤、在学の方  
参加費 : 無料  
申し込み : ボランティアセンター  
お待ちしております！

## 梅雨の花「紫陽花」

紫陽花と言うと大きな花びらを思い浮かべがちですが、花びらに見える部分は紫陽花のガクなのです。そのガクの中心にある小さなものが花です。

紫陽花は大きく分けて二つのタイプがあります。「ガク(額)紫陽花」と「ほん紫陽花(ハイドランジア)」で、一般的に紫陽花と言われるのは「ほん紫陽花」です。日本固有のガク紫陽花からヨーロッパで品種改良されて生まれたものです。

紫陽花は土壌の酸度によって色が変わるため、ネガティブなイメージの花言葉がつけられています。青色の花は「辛抱強い愛情」、ピンク色の花は「元氣な女性」、白色の花は「気の迷い、寛容」といったポジティブな花言葉もあります。

また紫陽花は種類も多く日本では3千種類もあっていわれています。どんな紫陽花に出会えるか、近くのお寺や庭園に出かけてみませんか。



(A 記)

## 思いがけないミニ同窓会

5月初旬、同窓生のお葬式がありました。京阪神在住の仲間が参列しました。彼女とのお別れは辛いものでした。

牧師夫人として立派な働きをしてきた彼女は、「守口ぶどうのいえ」(特定の病院で、入院・検診・リハビリ等で遠隔地から来られる患者さんや付き添いの家族が安

価で滞在できる施設です)の設立から10年余り、陰で支えておられました。彼女のご冥福を仲間と共に祈りながら、思いがけない「ミニ同窓会」をプレゼントしてくれた彼女に感謝し、これからは無理せず、自分の少しばかりの力を有意義に使いたいと思いました。

(ブンちゃんママ)

## みんなのひろば

浅田次郎著

## 「長く高い壁」

戦後70年が過ぎ、自衛隊の存在を憲法にどのように位置付けるのか、9条を中心とした憲法論議、この国がどちらの方向に進もうとしているのか……。そんな中、日中戦争が泥沼化していった昭和13年を舞台にした小説、浅田次郎の新刊「長く高い壁」を紹介したい。

従軍作家が探偵役を演じ、万里の長城、張裕嶺でのミステリアスな事件の謎解きに立ち向かう。小説の形を取りながら戦争の大義、戦争の悲惨さに迫る人間ドラマである。戦争をはるか昔のことと、記憶の奥に仕舞い込んでいたことに気付かされた。(竹トンボ)

## 介護衣料手作りの会 糸ぐるま



飲み忘れ防止用薬入れ

## 作品紹介

活動日と活動場所  
毎週火曜日 10時~15時30分  
ボランティアセンター1階 活動室



改良衣服(車椅子用)



クッションいろいろ



ベッドサイドの小物入れ

## 書籍紹介

「糸ぐるま」では、身体の不自由な方のための着やすい着せやすい服を工夫して作っています。衣服の改良には寸法直しをはじめ、ボタンをマジックテープに取り替える。フアスナーあきを付けるなどです。その他食食用エプロン、車椅子用の雨具、手揚げ靴、小物などの製作もしています。



改良衣服(車椅子用)

浅田次郎著

## 「長く高い壁」

戦後70年が過ぎ、自衛隊の存在を憲法にどのように位置付けるのか、9条を中心とした憲法論議、この国がどちらの方向に進もうとしているのか……。そんな中、日中戦争が泥沼化していった昭和13年を舞台にした小説、浅田次郎の新刊「長く高い壁」を紹介したい。

従軍作家が探偵役を演じ、万里の長城、張裕嶺でのミステリアスな事件の謎解きに立ち向かう。小説の形を取りながら戦争の大義、戦争の悲惨さに迫る人間ドラマである。戦争をはるか昔のことと、記憶の奥に仕舞い込んでいたことに気付かされた。(竹トンボ)

(A 記)